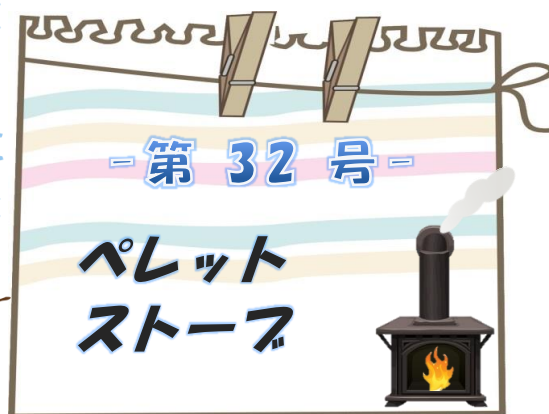


もがみがわ 情報局



2月に入り、立春を過ぎて暦の上では春になりましたが、1月同様、まだまだ寒い日が続いております。今回は、そんな寒～い日々には欠かせない暖房器具の一つであるストーブで、改良区で導入しているペレットストーブをご紹介します。

このストーブは、前回紹介した「エコアクション21」の取組みの一環で、本区環境方針にあるCO₂（二酸化炭素）の排出量削減に繋がるため、平成20年度及び平成21年度に購入・設置したものです。



ペレットストーブとは

間伐材や樹木の伐採時などに発生した枝葉や製材工場などから排出される樹皮・鋸屑・端材といった循環資源としての「木質バイオマス」を細かく砕き、圧縮することで棒状に固めて成形した「木質ペレット」を燃料としているストーブのことです。

また、この「木質ペレット」は、木材のみを原料としているため、燃焼後に発生する二酸化炭素は樹木が吸収していた分だけなので、石油などの化石燃料のように大気中に新たに二酸化炭素を増加させることがない、環境に優しい燃料です。

本区のペレットストーブ

下の写真に写っているのが、本区事務室内に設置しているペレットストーブです。

使用しているのは、山形県内のクロマツから生じる循環資源を100%原材料とした木質ペレットで、ストーブの右上部を開いて燃料補給を行います。



大体2～3cmほどの大きさです。

本区環境方針はこちら

最上川土地改良区環境方針

【基本理念】

最上川土地改良区は、庄内平野のほぼ中央に位置し、最上川・立谷沢川の流れとともに日本を代表する水田地帯を形作っている。この水田地帯は、豊かな地域生態系の一部として、様々な生き物を育んでいる。21世紀は環境の世紀とも言われており、我々は、先人が築いたこの貴重な財産を子孫に引き継いでいく義務を負っている。そのことを踏まえ、基本理念を次のとおり定める。

- ・事業活動を通じて環境への負荷を与える要因の削減に努める。
- ・地域社会と連携して自然環境の保全に努める。
- ・環境保全に関する法令を遵守し社会情勢の変化に的確に対応する。

【行動指針】

- 1 地球温暖化防止のため、CO₂排出量の削減に努める。
- 2 適切な分別リサイクル活動等により廃棄物の削減を目指す。
- 3 水使用量の抑制に努める。
- 4 農業農村の持つ自然生態系の保全や多面的機能の活用に取り組む。
- 5 この活動を通じ職員と地域社会の環境意識の向上に努める。

本区環境方針は、本区事務室内に設置しているペレットストーブの右上部を開いて燃料補給を行います。

広報にはエコアクション21環境活動報告を掲載しております。（平成25年度は報告なし）
ペレットストーブ導入によるCO₂の削減効果については、平成21年度広報第67号及び平成22年度広報第69号のエコアクション21環境活動報告をご覧ください。

最上川土地改良区ホームページに広報を添付しています（右側参照、平成21年度新年号～）

TOP
あいさつ
沿革と概要
用水状況
賦課金関係
事業関係
届出・申請書
入札・競争入札
広 報
EA21
アクセス
お問合せ
最上川情報局

こちら